

令和2年度東中学校テーマ

『 挑戦 』

～踏み出す勇気を持ち、
向上に挑む学校～

瀧桜

学校教育目標

『豊かな心を持ち
確かな学力を身に付けた
心身ともに健康な生徒の育成』
【友愛】【英知】【健康】

TEL 0224-25-5575 FAX 0224-25-5623

第33回卒業式



校長式辞より～(一部抜粋)

今、卒業証書を手にした 卒業生の皆さん 卒業おめでとう。皆さんの、どの顔を見ても、緊張の中に、未来への決意が感じられ、とても嬉しく思います。

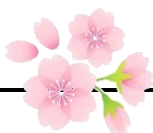
今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校がスタートできたのは、五月の下旬からでした。その後も、いろいろな制限があり、例年通り開催できない行事があった中、皆さんは「挑戦」を合言葉に、いろいろなことを工夫・改善しながら、下級生をリードし、学校の顔として活動しました。その象徴的なものが、実行委員を中心に、これまでとは違う、新しい発想で開催した東中祭でした。あの時の、生き生きと活動する、皆さんの姿は、本当に輝いていました。また、自由曲一曲に、すべてをかけた合唱コンクール、皆さんの真剣な表情と、心をつなげた美しい歌声には、「感動で、心が震えました。そして何より、日頃の明るい笑顔と元気なあいさつ。私自身が、毎朝、皆さんから元気を分けてもらっているようでした。

九年間の義務教育を終える皆さんの未来にむけ、一冊の本の話をしませう。ノートルダム清心女子大学の学長を長年にわたって務められた、渡辺和子さんが書いた、ベストセラー、「置かれた場所で咲きなさい」についてです。「置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのだ」そう告げるその詩は、未知の土地で見知らぬ人たちに囲まれた慣れない生活に苦勞していた渡辺さんを大いに励ましました。「置かれた場に不平不満を持ち他人の出方次第で、幸せになったり、不幸になったりしては 環境の奴隷でしかない。人間として生まれたからには、どんなところに置かれても、そこで環境の主人公となり、自分の花を咲かせようと、決心することができた」と述べています。

皆さんのこれからの人生でも、勉強や友人関係、仕事、子育てなど、「こんなはずではなかった」と思うことが、出てくるかも知れません。そんな時にも、その状況の中で 自分の花を咲かせるためにできる努力を続けることが大切です。それでもどうしても咲けない時も必ずあります。光が届かない雨の夜、日照り続きの苦しい日、そんな時には、無理に咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと伸ばし、しっかりと根を張るのです。

「置かれた場所」は、何も位置的な意味だけではなく、精神や考え方も意味しています。理不尽なこと、どうしようもない不条理に耐えられるだけの、しっかりした土台を作ることが大切なのです。「咲けない日は、根を下へ下へと降ろす」いつか自分なりの花を咲かせるために、皆さんが進んでいく道の中で、しっかり根を張り、自分の心の有り様を定めていってください。皆さんが、それぞれの人生の中で、世界に一つだけの花を咲かせていくため、いろいろなことに挑戦していくことを期待します。

4月の行事予定



日	曜	行事等
1	木	学年始休業日
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	始業式(午前) 給食なし 12:00 下校 入学式 13:30開式
9	金	全校オリエンテーション
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	開校記念日 対面式(5・6校時)
14	水	自分づくりの日 ショート避難訓練
15	木	尿検査
16	金	専門委員会 尿検査予備日
17	土	
18	日	
19	月	フリー参観(~24日)
20	火	眼科検診
21	水	EGT(2・3年) 自分づくりの日
22	木	交通安全教室
23	金	
24	土	PTA総会 学年PTA
25	日	
26	月	振替休業日
27	火	市学力調査 1年(国数) 2・3年(国数英)
28	水	職員会議のため 13時下校(給食あり)
29	木	昭和の日
30	金	

春休み

3月25日(木)~4月7日(水)

- * 春休みのしおりを生徒に配布しております。ご家庭でも親子で内容をご確認ください。
- * 離任式は、3月29日(月)です。生徒は、8:45までに直接体育館に入ります。
- * 29日(月)の午後に資源回収業者がきます。あと250kg 集めたいと思っています。ご協力をお願いします。
- * 春休みの課題学習のため、タブレットPCを持ち帰ります。使い方は、学校で指導していますが、ご家庭でもタブレットPCを使って学習の様子をご覧いただきたいと思います。なお、市内で共通している使い方のルールについても、再度親子で確認をお願いいたします。

3月11日 忘れずの集い



みやぎ鎮魂の日に、全校で「忘れずの集い」を行いました。東日本大震災の時に、当時の中学生がどんな行動をとり、どんな思いでいたかを知りました。集会を終えて、生徒たちはたくさんのかんじ、考えたようです。感想を紹介します。

◆ 当時、私たちと同じ年齢の人たちがどのような行動をとっていたか、よくわかりました。自分たちができることを考えて、一生懸命行動していたので、私も何かあった時は自分たちで考え、しっかり行動したいと思いました。そして、普通だと思いながら過ごす毎日が幸せだということに改めて感じました。忘れられない、忘れてはならない出来事なので、私も未来に伝えていけたらなと思いました。(2年女子)

◆ もし、あの時自分がその場にいたら、今日見たような行動ができるのか、そのために何をすればいいのか考えた。震災のことを忘れずに生きたい。当時の中学生の行動がすごいと感じた。次に震災が起きた時は、自分たちが行動しないといけないと思った。(1年男子)